

博士号取得

電力技術研究所 電力ネットワークグループ システムの中地芳紀さんが、2007年3月24日に名古屋工業大学から博士(工学)の学位を授与されました。

中地さんは、電力系統の現象解析や安定化制御に関する研究に従事しながら、2004年に名古屋工業大学大学院工学研究科博士後期課程に入学し、情報工学専攻 鶴飼裕之教授のご指導のもと、分散電源の普及など将来の状態変化に対応した電力系統の電圧・無効電力制御方式に関する研究に取り組んできました。中地さんは、「上司やチームのメンバーなど数多くの方にご協力をいただきまして、この度学位を取得することができました。大学での成果や知見、考え方が今後業務でも活かせるように引き続き頑張っていきたいと思っています。」と語っています。



電力技術研究所 エネルギーエンジニアリンググループ エネルギーチームの大岩徳雄さんが、2007年3月24日に名古屋工業大学から博士(工学)の学位を授与されました。

大岩さんは、スターリングエンジンに関する研究などに従事しながら、2004年に名古屋工業大学大学院工学研究科機能工学専攻に入学し、長野靖尚教授のご指導のもと、回転を伴う熱流動を解析するための乱流モデルに関する研究に取り組んできました。この研究成果により、タービン等回転機器の内部熱流動が高精度に予測され、機器の効率向上に向けた最適設計手法の確立が期待できます。大岩さんは、「多くの方々の公私に渡る協力支援により学位が取得できました。流体解析はメーカーに頼る部分が多いですが、今後は自社で解析評価できるよう、さらに努力していきたいと思っています。」と語っています。



ENE-WAY 2007 開催される

8月29日(水)~31日(金)の3日間、ポートメッセなごやにおいて、当社と中部地方電気使用合理化委員会は、「カチ! エネルギー、電気! ~ ビジネスで勝つために、価値ある原動力」をキャッチフレーズに、展示会「ENE-WAY 2007」を開催しました。

本展示会は、環境対策、省エネ、省コストなど、お客さまの抱える様々な課題に対して、エネルギーに関する最新技術や有効活用策をご紹介します。

今年度は、近年急速に性能向上が図られ、環境対策の切り札として注目されている「電気式高効率ヒートポンプ」、厨房環境を画期的に改善する「電化厨房」を展示の目玉に掲げ、最新機器を展示するとともに、当社のエネルギーソリューションをご提案しました。

開催期間中は、3日間で延べ10,878人の方にご来場いただき、電気最新技術と当社のプレゼンテーションを熱心にご覧いただきました。



写真-1 受付風景



写真-2 会場全景